

## ★ 第 137 回 日本社会分析学会例会プログラム★

日程：2019年7月27日（土）～7月28日（日）

会場：熊本大学（〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）

報告会場：文法学部本館1階A3教室

※持ち時間はSの場合30分（報告20分：質疑10分）、Lの場合60分（報告30分：質疑30分）が標準です。レジュメや資料は35部程度ご準備ください。報告にてプロジェクターが使えます。

### 7月27日（土）

理事会 12:00～13:00

開会 13:20

#### 自由報告部会I（13:20～14:50）

1. 「中山間地域の医師不足解消に期待される医学部「地域枠」について—広島県での制度運用を事例に」（S）  
塚本 直巳（広島県地域保健医療推進機構）
2. 「高齢女性の住居に対する意味付けとその相続」（S）  
入江 彩夏（九州大学大学院）
3. 「超巨大開発における家族の選択—中国三峡ダム建設による移住者の家郷への帰還を事例に」（S）  
杜 安然（熊本大学大学院）

=Coffee Break(10分)=

#### 自由報告部会II（15:00～16:30）

1. 「Positioning migrant acculturation in social, political and economic context of inter-group relationships and interactions」（S）  
Myagmarjargal Purev（九州大学大学院）
2. 「コミュニティ複合の着想」（S）  
三隅 一人（九州大学）
3. 「学校に行き直す高校中退者」（S）  
三代 陽介（熊本大学）

=Coffee Break(10分)=

#### 総会（役員選挙）（16:40～17:40）

懇親会（18:00～20:00）（会費：有職者 4,000 円、有職者以外 3,000 円）

### 7月28日（日）

#### 自由報告部会III（10:00～12:00）

1. 「ターゲットとなる子ども—幼児雑誌の付録の分析より」（S）  
桑畑 洋一郎（山口大学）
2. 「複業とコミュニティードイツ農村の事例から」（S）  
松本 貴文（下関市立大学）
3. 「小津安二郎作品に見る戦後・高度成長期の社会  
—家族・感情の表出・生活空間の拡大に関する社会学的考察」（L）  
叶堂 隆三（下関市立大学）

閉会 12:00